

平成27年度運行分系統別利用実態（公表シート）様式2

系統名	秋葉線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	袋井駅前	遠州森町	気多		
系統キロ程 (km)	43.5	輸送量 (人/日)	17.1		
平均乗車密度 (人/便)	2.6	運行回数 (回/日)	6.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	春野中学校、気田小学校、天竜高校春野校舎、犬居小学校、三倉小学校、泉陽中学校、天方小学校、森小・中学校、遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校			
	病院	袋井市民病院			
	商業施設	イオン袋井店			
	その他	天竜区春野協働センター、森町役場、袋井市役所、JR袋井駅、天竜浜名湖鉄道戸綿駅			
収支率 (%) (収益/費用)	39.0		乗車人員 (人)	94,038	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停7	名称	拠点：JR袋井駅、遠州森町ターミナル バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、可睡口、戸綿（重複区間を除く）		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	39.3				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸安全マネジメントに準拠した取組の実施による安全・安心な輸送サービスの提供</li> <li>・教育の実施による窓口及び運転士の接客・接遇の向上</li> <li>・各種運賃割引施策の実施（秋葉線の頭打ち運賃の実施、通学ウィークデー定期、環境定期）</li> <li>・秋葉線（元開橋～気多間）13時以降のフリー降車サービスの継続実施</li> <li>・沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催</li> <li>・地域で開催されるイベント等への協力・協賛</li> </ul>				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態に合わせた合理化ダイヤ改正の可否の検討及び関係市町との協議</li> <li>・効率的な勤務指定など、人件費の抑制による運送費の節減</li> <li>・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な経由購入及びエコドライブによる運送費の節減</li> <li>・小さな本社の維持と貸切バス事業による経費の分散（一般管理部門費用の抑制）</li> </ul>				
沿線市町の サポート	<p>【浜松市】</p> <p>浜松市総合交通計画において基幹的な公共交通として位置づけており、交通事業者が主体的に運行する中で、利用促進等の取り組みを行い、地域・交通事業者・行政が一体となって路線の維持確保に努める。</p> <p>秋葉バス（秋葉線）、遠州鉄道（北遠本線・秋葉線）は天竜区の骨格をなす路線であり、他に代替の交通手段がないことから、路線の存続が必要であり、国庫補助金で不足する経費を市が補助することで維持していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 運行継続のため事業者に対して補助金を交付（27市予算額：118,246千円）</li> <li>2 新たな利用者を掘り起こすためのC&amp;R駐輪場整備に対して補助金を交付（H27市予算額：2,034千円）</li> <li>3 利用促進のための啓発イベントに対して補助金を交付（H27市予算額：300千円）</li> <li>4 高齢者等にバス券等を交付（高齢者70歳以上4,000円/年）（H27市予算額：396,078千円※事業総額）</li> <li>7 浜松市地域公共交通会議での協議（平成28年1月18日 第27回浜松市地域公共交通会議）</li> <li>8. その他の取り組み</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者MM：転入者に対して路線図、啓発パンフ等を配布</li> <li>・地域MM：地域交通検討会、老人クラブ等の会合で啓発</li> <li>・企業MM：エコ通勤、C&amp;R等の取り組みの協力</li> <li>・職員MM：エコ通勤の日設定、毎月の庁内広報誌の発行</li> <li>・学校MM：事業者主催のバス教室の開催</li> <li>・高校生MM：市内の新高校生全員にむけて、利用促進パンフを配布</li> </ul> <p>【袋井市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のため国・県補助後の不足額を補助</li> <li>・自主運行バスとの乗り換えができるように当地域間幹線系統に接続する停留所設置（幹線・自主運行停留所名：山梨郵便局前）</li> </ul> <p>【森町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のために、運行費の一部について関係市町で補助している。</li> <li>・利用促進のために、町営バス（自主運行バス）との接続時間を考慮している。</li> </ul>				
利用実態					

平成27年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式 2

系統名	可睡の杜線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	袋井駅前	可睡の杜	遠州森町		
系統キロ程 (km)	13.3	輸送量 (人/日)	19.0		
平均乗車密度 (人/便)	3.4	運行回数 (回/日)	5.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	森小学校、遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校			
	病院	袋井市民病院			
	商業施設	イオン袋井店			
	その他	森町役場、袋井市役所、JR袋井駅、天竜浜名湖鉄道戸綿駅			
収支率 (%) (収益/費用)	73.4		乗車人員 (人)	45,727	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 7	名称	拠点：JR袋井駅、遠州森町ターミナル バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、可睡口、戸綿（重複区間を除く）		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	22.0				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸安全マネジメントに準拠した取組の実施による安全安心な輸送サービスの提供</li> <li>・教育の実施による窓口及び運転士の接客、接遇の向上</li> <li>・各種運賃割引施策の実施（通学ウィークデー定期）</li> <li>・沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催</li> <li>・地域で開催されるイベント等への協力、協賛</li> </ul>				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態に合わせた合理化ダイヤ改正の可否検討及び関係市町との協議</li> <li>・効率的な勤務指定など、人件費の抑制による運送費の節減</li> <li>・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な経由購入及びエコドライブによる運送費の節減</li> <li>・小さな本社維持と貸切バス事業による経費の分散（一般管理部門費用の抑制）</li> </ul>				
沿線市町の サポート	<p>【袋井市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のため国・県補助後の不足額を補助</li> <li>・自主運行バスとの乗り換えができるように当地域間幹線系統に接続する停留所設置（幹線・自主運行停留所名：山梨郵便局前）</li> </ul> <p>【森町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のために、運行費の一部について関係市町で補助している。</li> <li>・利用促進のために、町営バス（自主運行バス）との接続時間を考慮している。</li> </ul>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成27年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	秋葉中遠線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	大東支所	横須賀車庫	袋井駅前		
系統キロ程 (km)	17.7	輸送量 (人/日)	25.5		
平均乗車密度 (人/便)	3.0	運行回数 (回/日)	8.5		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	浅羽北小学校、浅羽中学校、笠原小学校、横須賀高校、横須賀小学校、大須賀中学校、大淵小学校、大浜中学校			
	病院				
	商業施設				
	その他	袋井市浅羽支所、掛川市大東支所、JR袋井駅			
収支率 (%) (収益/費用)	63.2		乗車人員 (人)	58,840	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点1 バス停4	名称	拠点：JR袋井駅、 バス停：芝、浅羽支所、横須賀車庫前、大東支所（重複区間を除く）		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	44.2				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸安全マネジメントに準拠した取組の実施による安全・安心な輸送サービスの提供</li> <li>・教育の実施による窓口及び運転士の接客・接遇の向上</li> <li>・各種運賃割引施策の実施（通学ウィークデー定期）</li> <li>・沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催</li> <li>・地域で開催されるイベント等への協力・協賛</li> </ul>				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態に合わせた合理化ダイヤ改正の可否検討及び関係市町との協議</li> <li>・効率的な勤務指定など、人件費の抑制による運送費の節減</li> <li>・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な経由購入及びエコドライブによる運送費の節減</li> <li>・小さな本社維持と貸切バス事業による経費の分散（一般管理部門費用の抑制）</li> </ul>				
沿線市町の サポート	<p>【掛川市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回のノーカーデーでのバス等公共交通利用呼びかけ。</li> <li>・市ホームページから時刻表等バス情報へのリンク。</li> <li>・中東遠総合医療センター受診者への復路運賃助成。</li> <li>・沿線市町による補助。</li> </ul> <p>【袋井市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のため国・県補助後の不足額を補助</li> <li>・自主運行バスとの乗り換えができるように当地域間幹線系統に接続する停留所設置（幹線停留所名：浅羽支所 自主運行停留所名：商工会前）</li> </ul>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

平成27年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	秋葉中遠線			事業者名	秋葉バスサービス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	袋井駅前	袋井市民病院	遠州森町		
系統キロ程 (km)	13.0	輸送量 (人/日)	41.5		
平均乗車密度 (人/便)	3.3	運行回数 (回/日)	12.6		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	森小学校、遠江総合高校、飯田小学校、周南中学校、袋井商業高校、袋井北小学校			
	病院	袋井市民病院			
	商業施設	イオン袋井店			
	その他	森町役場、袋井市役所、JR袋井駅、天竜浜名湖鉄道戸綿駅			
収支率 (%) (収益/費用)	73.1		乗車人員 (人)	82,057	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点2 バス停7	名称	拠点：JR袋井駅、遠州森町ターミナル バス停：森川橋、福田地、山梨、下山梨、北町、可睡口、戸綿（重複区間を除く）		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	36.2				
増収策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸安全マネジメントに準拠した取組の実施による安全・安心な輸送サービスの提供</li> <li>・教育の実施による窓口及び運転士の接客・接遇の向上</li> <li>・各種運賃割引施策の実施（通学ウィークデー定期）</li> <li>・沿線小学校等におけるバスの乗り方教室の開催</li> <li>・地域で開催されるイベント等への協力・協賛</li> </ul>				
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用実態に合わせた合理化ダイヤ改正の可否検討及び関係市町との協議</li> <li>・効率的な勤務指定など、人件費の抑制による運送費の節減</li> <li>・静鉄グループのスケールメリットを活かした廉価な経由購入及びエコドライブによる運送費の節減</li> <li>・小さな本社維持と貸切バス事業による経費の分散（一般管理部門費用の抑制）</li> </ul>				
沿線市町のサポート	<p>【袋井市】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のため国・県補助後の不足額を補助</li> <li>・自主運行バスとの乗り換えができるように当地域間幹線系統に接続する停留所設置（幹線・自主運行停留所名：山梨郵便局前）</li> </ul> <p>【森町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線維持のために、運行費の一部について関係市町で補助している。</li> <li>・利用促進のために、町営バス（自主運行バス）との接続時間を考慮している。</li> </ul>				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

# 系統地図

